

調査研究報告書の活用に関するアンケート結果報告

当調査会は、毎年度、複数の調査研究報告書を作成し、多摩・島しょ地域市町村等に配布するとともに、ホームページ上 (<http://www.tama-100.or.jp/>) でも広く公開しています。

各自治体の現場において、どのように報告書をご活用いただいているのか把握するため、4月から5月にかけて多摩・島しょ地域の39市町村を対象としたアンケートを実施しました。

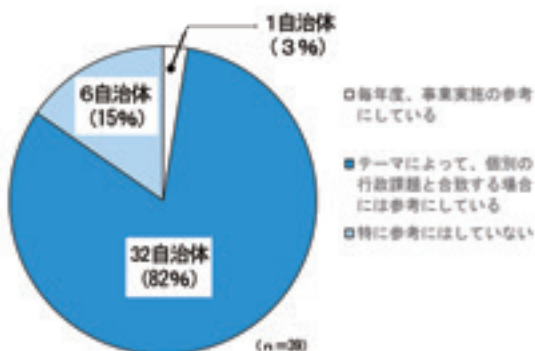
<市町村の事業にご活用いただいています>

調査研究のテーマが市町村の行政課題に合致する場合には参考にしており、32自治体 (82%) にご回答いただきました (図1参照)。また、2018年度事業の実施に当たっては、12自治体 (31%) から2015年度から2017年度に調査した研究結果を基礎的な情報、データ等として活用し、方針の策定や対策の検討等に当たって参考にしたとご回答いただいております (図2参照)。

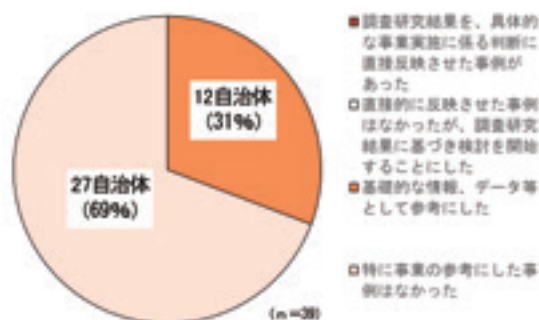
各調査研究では、市町村が事業に取り組まれる際のご参考にしていただけるように、多摩・島しょ地域の自治体にアンケートを行い、地域の実態について明らかにするとともに、取組のポイントとなる点を先進自治体や有識者などから伺い、取組の方向性をお示しするなど、多くの情報を掲載しております。

調査研究内容は、過年度のものも含めて当調査会ホームページに掲載しておりますので、ご参照いただき、各市町村の取組に是非ご活用いただきますとともに、当調査会といたしましても、引き続き調査研究内容の充実に努めてまいります。

(図1) 調査研究結果の活用状況 (単数回答)



(図2) 2018年度事業への活用事例 (単数回答)



編集後記

当調査会では、調査研究の実施に当たって有識者の方々にお話を伺う機会が数多くありますが、各分野に精通しているの方々のお話は、言葉の端々に熱がこもっており、インタビューの内容以外にも、物事に取り組まれる姿勢や考え方が業務の参考になると感じています。

さて、本誌にも記事を掲載しているとおり、当調査会では、今年度も市町村の皆様にご協力をいただいた調査研究に関するアンケートを基に、多摩・島しょ地域の現状を分析しつつ、各分野の有識者にお話を伺いながら、調査研究を進めています。今後取りまとめる予定の報告書では、調査研究結果に併せて、有識者の方々に伺ったお話も一部掲載する予定です。報告書は、各調査研究内容についてわかりやすく伝わるよう研究員も工夫を重ねていますので、皆様には有識者の熱量も感じていただきながら、業務の参考としてご一読いただくと幸いです。(T.O)

発行 公益財団法人 東京市町村自治調査会
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館 4階
TEL : 042-382-0068
URL : <http://www.tama-100.or.jp/>
責任者 小暮 実

本誌のバックナンバー等をご覧いただけます

